



## ネマキック粒剤で 「にんじんの形や肌がきれいに」 効果に確かな手応え

埼玉県所沢市 **山下元斉さん**<にんじん> 2013年

首都圏有数のニンジン産地、埼玉県。県内でも指折りの産地である所沢市で冬ニンジンを中心に高品質生産を続ける山下元斉(もとなり)さん(取材当時45)は、商品価値を左右す線虫防除で成果を上げている。

**「ネマキック粒剤」は販売開始から使い始めた。「健全な生育を後半までしっかりと確保でき、一部で見られた寸づまりの傾向がほとんどなくなって、全体的にニンジンの形や肌がきれいになった」と手応えを感じている。**

1.5ヘクタールで冬ニンジン栽培する山下さんは、は種の約1カ月前に土壤消毒剤「D-D」を処理、ガス抜き後、は種の2週間ほど前に粒状線虫防除剤を処理する方法で主に対応してきた。防除剤がしっかりと土中に広がるよう25cmほど深く混和するなど工夫もしてきた。

しかし、「ひげ根が目立つようになってきた」ことから、JAの勧めもあって「ネマキック粒剤」に変えたところ、「しっかりと効き、ニンジンの外観はすっかり良くなった」と話す。「ネマキック粒剤」は、種をまく直前にも使える安全性に加え、長い残効性が特徴の一つ。山下さんは、は種よりかなり前に使っているが**「生育後半に効果が落ちている感じはせず、長く効いていると思う」と話す。**

**また、土壤中で成分が速やかに広がる点も優れている。「下の方にいる線虫にも効いているようだ」とも語る。**

「ニンジンには形が良くないと商品価値が無くなる」。国から野菜指定産地の指定も受ける産地として、そうした思いを共有する部会全体でも普段から線虫防除は情報を共有し合いながら細心の注意を払ってきた。「ネマキック粒剤」本格導入から、効果の高さは口コミなどで広がり、同JA中央広域営農センターによると、部会の中でも使用者は年々増えつつあるという。

